

平成27年度
事業報告

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

公益財団法人岩手県国際交流協会

「平成 27 年度事業報告」目次

< 概要 >	1
< 事業活動 >	
1 交流による地域づくり	3
(1) 情報の収集・提供	3
(2) 国際交流の推進	3
(3) 国際理解の推進	6
(4) 国際交流団体等との連携	6
2 多文化共生の地域づくり	9
(1) 情報提供	9
(2) 日本語学習支援	9
(3) 外国人県民の生活支援	9
3 次代を担う人づくり	11
(1) 講座・研修	11
(2) 海外研修員等の受入れ	13
4 震災被災地復興の支援	13
(1) 外国人相談の実施	13
(2) 震災地域団体支援	13
< 管理部門 >	
I 評議員会・理事会等の開催状況	14
II 業務執行体制等	15
1 職員の状況	15
2 コンプライアンス体制及び職員研修	15
3 JICA 国際協力推進員の配置	15
III 寄附金及び賛助会員の状況	15
1 寄附金の受入れ	15
2 賛助会員の入退会	15

平成 27 年度事業報告

< 概 要 >

平成 27 年度は、事業計画に基づき、「交流による地域づくり」、「多文化共生の地域づくり」、「次代を担う人づくり」、「震災被災地復興の支援」の 4 つの柱に沿って各事業に取り組み、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に努めた。

特に、重点事項として、市町村国際交流協会が地域の国際交流拠点として活動できる体制づくりに向けて連携を強化するため、広域圏ごとに担当職員を配置し、緊密な情報交換や意見交換会の開催により実態の把握に努めるとともに、各協会の実情に応じた助成事業の実施等支援に努めた。

また、海外経験を有する若い世代の発想やネットワークを地域の活性化に生かすための取組として、新たに「世界とのかけはしクラブ」設置運営事業に着手し、県内 4 地域でのワークショップの実施等を通じ、地域のグローバル化を支える人材の育成に努めた。

さらに、国際リニアコライダーの誘致実現に向け、啓発普及活動に取り組むとともに、行政職員や自治会役員等を対象として、外国人との関わり方等に関する研修を実施し、外国人受入れの基盤となる体制の整備促進に努めた。

4 つの柱における主な事業実施の概要は、次のとおりである。

1 交流による地域づくり

県内各地の国際交流のイベント情報などを紹介する情報紙「jiengo」を 4 回発行し、県民の国際交流への参加機会の拡大に努めるとともに、機関誌「いわて国際交流」では「災害対策」を特集として取り上げ、災害対応に関する外国人支援等について意識啓発を図った。

また、県の国際交流センターの管理運営を受託し、外国人との交流イベントを定期的に実施するとともに、開催日を平日の夜に設定する等、参加者の層を拡大するための改善に努め、国際交流の拠点機能の充実を図った。

ワン・ワールド・フェスタについては、アイーナでの開催において過去最大の参加者数となった。また、陸前高田市や九戸村でも開催し、地域での国際交流の機会を提供した。

2 多文化共生の地域づくり

ホームページを通じた多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）での情報の提供のほか、フェイスブックによる情報提供の充実を図りアクセス数が増加した。

また、窓口での外国人相談対応や地域巡回相談を行うとともに、定期的に相談専門員の内部研修を実施し、相談対応の充実に努めた。

通訳や翻訳、講師等の紹介依頼に対し、多言語サポーターの活用支援を行った。

3 次代を担う人づくり

「世界とのかけはしクラブ」設置運営事業の一環として、県内の中・高校生、大学生を対象とした海外体験の合同報告会や地域活性化のための海外展開に向けた地域の魅力等について、留学生等とのディスカッションを行うワークショップを県内4地域で開催し、地域におけるグローバル意識の向上と人材の育成を図った。

また、留学セミナーを実施し、留学等の海外体験者の体験談等を通じてグローバルな視点を育むとともに、海外体験への意欲高揚を図った。

4 震災被災地復興の支援

震災に関する相談窓口として、引き続き、被災地外国人相談員3名を配置したほか、被災地の国際交流協会が実施する事業への支援を行った。

＜事業活動＞

1 交流による地域づくり

(1) 情報の収集・提供

ア 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

外国語も含めた蔵書やビデオ・DVDの教材や国際交流関連の情報の収集・提供を行った。

- ・蔵書等のデータベース登録数 **8,401冊**（前年度 7,226冊）
- ・資料収集国数 **190か国**（前年度 190か国）
- ・国別ボックス数 **30箱/56か国**（前年度 25箱/56か国）
- ・民族衣装 **14か国/39セット**

イ 機関誌「いわて国際交流」の発行

特集記事として「災害対策、いざというときの心構えはできていますか？」を掲載し、発行した。

また、多言語版（英語・中国語・韓国語）については、協会のホームページに掲載した。

- ・日本語版 **4,000部/1回**（前年度 8,000部/年2回発行）

(2) 国際交流の推進

ア 国際交流センターの運営推進

岩手県から委託を受けて、国際交流センターにスタッフ6名及び外国人の国際交流補助員4名を配置し、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する相談や生活支援のほか、国際交流の拠点施設としてセンター利用者への対応等を行った。

- ・来館者数 **134,524人**（前年度 143,375人）
- ・インターネット利用者数 **4,060人**（前年度 4,461人）
- ・情報提供件数 **1,394件**（前年度 1,228件）

イ 外国人との交流会の開催

県国際交流員や留学生等との協働企画により、定期的に外国人との交流会を開催するとともに、アイーナ入居団体等との連携による企画イベントを実施し、参加者の拡大を図った。

- ・外国人との交流会：開催回数 **11回**、参加者 延べ **302人**
- ・センター企画事業：開催回数 **3回**、参加者 延べ **318人**
（前年度 8回 延べ 567人）

外国人との交流会					
No.	実施日	国	タイトル	ゲストスピーカー	参加人数
1	4/23(木)	アイルランド	これであなたもアイルランドマスター！ 第1回ゲール語を話してみよう！	イアン・サトル	16
2	4/30(木)	アイルランド	これであなたもアイルランドマスター！ 第2回文学・映画	イアン・サトル	15
3	5/7(木)	アイルランド	これであなたもアイルランドマスター！ 第3回MUSIC LIVE	イアン・サトル	36
4	5/14(木)	アイルランド	これであなたもアイルランドマスター！ 第4回飲食文化	イアン・サトル	22
5	6/19(金)	アメリカ	FRIDAY NIGHT, ENGLISH NIGHT!	ユミ・チョ ヨン・ラフン・オッドソン ニコル・スタインメッツ ジェームス・コプロス	33
6	7/25(土)	中国	中国伝統文化体験 第一弾クラフト作り	李楠	13
7	8/23(日)	パラグアイ	Holaパラグアイ	工藤 裕章 西田フアナ	40
8	9/27(日)	中国	中国伝統文化体験 第二弾伝統体操八段錦	李楠	12
9	10/30(金)	アメリカ イギリス	All Hallows Eve ～ハロウィン前夜祭～	ニコラス・オークデン ユミ・チョ ミランダ・カロール	57
10	11/23(月)	中国	中国伝統文化体験 第三弾プーアル茶会	李楠	18
11	2/19(金)	イギリス	Nottinghamってどんなところ？	ニコラス・オークデン	40
				参加人数合計	302
国際交流センター企画事業					
1	7/11(土)	中国	中国雲南省Kids in 岩手 (県との連携事業)	李楠 雲南省中学生10名	55
2	10/18(日)	イギリス アメリカ パラグアイ エルサルバドル クロアチア インドネシア	親子で国際交流 (青少年交流活動センターとの連携事業)	アン・プレディ ニコラス・オークデン ユミ・チョ 西田フアナ Eugenia Menjivar イエレナ・グベリック Blita Masyriah	232
3	2/19(金)	日本	KENDO (JICA岩手デスクとの連携事業)	久住元太 對馬真裕 ニコラス・オークデン	31
				参加人数合計	318

ウ 国際交流イベントの開催

「2015 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」を盛岡市（アイーナ）のほか、陸前高田市及び九戸村で開催した。

① 盛岡市（アイーナ）における開催

開催日 平成 27 年 12 月 6 日（日）

会場 国際交流センター他

参加者 **3,600** 人（前年度 2,205 人）

テーマ ネパール復興支援 AID NEPAL

プログラム 「ステージ “CHAUTARI” チャリティ・コンサート」

「世界とのかけはしクラブ キックオフ イベント」「ワールド ブース」「ワールド ランチ」「ワールド ドレス 民族衣装体験」「キッズコーナー」「ILC コーナー」 等

協賛等：岩手ウインターリゾート協議会、岩手県科学 ILC 推進室

② ワン・ワールド・フェスタ in けせん～クリスマス交流会～

開催日 平成 27 年 12 月 21 日（日）

会場 陸前高田市コミュニティホール

参加者 約 150 人

共催 陸前高田市国際交流協会

プログラム 外国紹介ブース(タイ、アメリカ、中国ほか 3 か国)、キッズコーナー、民族衣装体験コーナー、外国人相談コーナーほか

③ ワン・ワールド・フェスタ in 九戸

開催日 平成 28 年 3 月 5 日(土)

会場 九戸村公民館

参加者 約 250 人

共催 九戸村、九戸村教育委員会

プログラム 「世界とのかけはしクラブ」県北ワークショップ、外国紹介ブース、キッズコーナー、食文化試食コーナー、民族衣装試着体験

エ 「身近な国際協力～世界フェアトレードディ～」の実施

ワン・ワールド・フェスタの中で、県内フェアトレード団体等と連携してフェアトレードに関するプログラムを実施し、国際協力の意識啓発を図った。

オ ホストファミリーの登録・活用

ホストファミリーの登録を行い、ホームステイの依頼に応じて活用を促進した。

・登録者 **154** 家庭 ・活用 **8** 件（23 家庭）（前年度 149 家庭、6 件）

カ いわて国際化人材の登録・活用

在住外国人や海外経験のある方々、通訳や翻訳に対応できる方々等の登録を行い、講師紹介の依頼があった際に紹介を行った。

また、様々な言語の依頼に対応できるよう、インドネシア語など希少言語の登録者の拡大を図った。

・登録者 個人 **322** 人、団体 **7**、 依頼件数 **67** 件、 活用件数 **47** 件
（前年度 // 296 人 // 7 // 93 件 // 69 件）

(3) 国際理解の推進

展示コーナーを活用し、年間を通じて時宜をとらえた各種企画展示を行った。

	期 間	テーマ
1	5月18日～8月15日	世界の民族衣装
2	6月29日～8月18日	中国雲南省からの便り
3	8月25日～9月30日	世界の食文化
4	10月9日～12月23日	国際協力の日
5	12月12日～12月26日	世界のクリスマス
6	1月9日～2月28日	世界のお正月
7	3月7日～4月30日	外国のウェディングは？
8	3月14日～3月30日	岩手のいいところ写真展

上記以外に、台湾南部地震支援募金活動の展示や、東日本大震災応援メッセージ展、外国人との交流会のテーマに合せた展示等も行った。

(4) 国際交流団体等との連携

ア 地域別市町村国際交流協会との意見交換会の開催及び市町村協会を中心とした多文化コミュニティ基盤整備事業（CLAIR助成）の実施

県内4圏域ごとに担当職員を配置し、各市町村国際交流協会への支援窓口を整備するとともに、平成26年度の県南地域に引き続き、盛岡、沿岸及び県北の3地域で連携強化の取組等に関する意見交換会を行った。

また、市町村協会職員等を対象に、外国人との適切なコミュニケーションの回り方等に関する研修会の開催や事例集の作成を行った。

① 地域別市町村国際交流協会との意見交換会の開催

	開催場所	開催日	参集者
盛岡地域	盛岡市（アイーナ）	平成27年9月9日（水）	参集者 13名 ・市町村協会 5団体（5名） ・市町村 4市町（4名） ・県若者女性協働推進室 2名 ・盛岡広域振興局 1名
沿岸地域	宮古市（シートピアなど）	平成27年10月22日（木）	参集者 12名 ・市町村協会 5団体（6名） （内市町村兼務 3名） ・市町村 4市町（4名） ・県若者女性協働推進室 1名 ・沿岸広域振興局 1名
県北地域	二戸市（二戸市勤労者福祉総合センター）	平成27年10月28日（水）	参集者 15名 ・市町村協会 4団体、6名 （内市町村兼務2） ・市町村 4市町村、4名 ・県若者女性協働推進室 2名 ・県北広域振興局 2名 ・二戸地域振興センター 1名

② 市町村協会を中心とした多文化コミュニティ基盤整備事業（CLAIR助成）の実施

1) 多文化コミュニティのリーダー育成研修

開催場所	開催日	テーマ及び講師	参加人数
盛岡市 (アイーナ)	平成 27 年 10 月 13 日 (火)	講座「多文化社会のまちづくり～新しいコミュニティを考える～」 講師：スコット・アルガード氏 (カナダ出身、シカゴ大学大学院博士課程)	40 人
	11 月 25 日 (水)	「外国人とのコミュニケーション講座 (災害時対応)」 講師：岩手大学グローバル教育センター 准教授 松岡 洋子先生	31 人
北上市 (生涯学習センター)	10 月 14 日 (水)	「外国人とのコミュニケーション講座 (医療)」 講師：スコット・アルガード氏 (カナダ出身、シカゴ大学大学院博士課程)	36 人
	11 月 11 日 (水)	「外国人とのコミュニケーション講座 (教育)」 講師：岩手大学グローバル教育センター 准教授 松岡 洋子先生	36 人
宮古市 (シートピアなあと)	平成 28 年 2 月 15 日 (月)	「外国人とのコミュニケーション講座 (災害時対応)」 講師：岩手大学グローバル教育センター 准教授 松岡 洋子先生	56 人

2) 外国人の対応事例集の作成

3) 各市町村国際交流協会の多文化共生に関する取組み状況及びニーズ調査

イ 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流関係団体の活動活発化に向けた意見交換、情報交換を行うとともに、国際化の意義に関する講演を開催した。

- ・開催日 平成 28 年 2 月 24 日(水)
- ・会場 盛岡市 (アイーナ)
- ・内容 全体会

講演 「多文化共生社会の構築に向けて～何のための国際化?～」

講師 大須賀関雄氏 (高エネルギー加速器研究機構ダイヤモンドフェロー)

参加者 団体 26 団体 34 人 (講演のみ 7 名) (前年度 23 団体 28 人)

国際交流関係団体連絡会議登録団体数 135 団体 (前年度 135 団体)

分野	団体数
国際理解	19
国際協力	9
日本語教室	8
青少年	13

学校・教育・文化・スポーツ	16
経済・観光	6
二カ国間交流	33
市町村・一般	31

ウ 国際交流関係団体等への活動支援

県内の国際交流団体等及び市町村国際交流協会が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動や事業に要する経費の一部を助成した。

① 国際交流団体等

・助成数 2件 助成総額 145千円
 (前年度 2件 " 103千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
「第25回外国人による日本語スピーチコンテスト」	国際ゾンタ盛岡ゾンタクラブ	100,000円 (403,332円)
講演会「父・孫基禎の歩みを語る～日韓の未来に向けて～」	「父・孫基禎を語る会」 実行委員会	45,000円 (90,088円)

② 市町村国際交流協会

・助成数 5件 助成総額 550千円
 (前年度 4件 " 340千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
キッズワールドクラブ	一般財団法人 遠野市教育文化振興財団	100,000円 (492,367円)
エデュケーション USA サマーキャンプ in 大船渡 2015	大船渡市国際交流協会、 陸前高田市国際交流協会	200,000円 (2,059,648円)
国際ワークキャンプ受入事業	紫波町国際交流協会	80,000円 (354,692円)
第20回大地の詩コンサート特別企画「フェアトレード&ワールドカフェ in 金ヶ崎」	金ヶ崎町国際交流協会	100,000円 (190,836円)
もっと知りたいあの国 第13章 ウクライナ	平泉国際交流協会	70,000円 (239,210円)

③ 日本語教室

・助成数 5件 助成総額 286千円
 (前年度 4件 " 258千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
岩手町国際交流協会 日本語サロン	特定非営利活動法人 岩手町国際交流協会	50,000円 (88,269円)
日本語語学講座	一関国際交流協会	40,000円 (51,000円)
NIKK 日本語教室	日本語サポートクラブ NIKK	36,000円 (66,195円)

日本語交流室「じょい」 日本語教室	日本語交流室「じょい」	80,000 円 (114,382 円)
日本語教室「いっぽいっ ぽ」運営事業	日本語教室「いっぽいっ ぽ」	80,000 円 (177,500 円)

エ 国際交流関係団体等との共催事業の実施

国際交流関係団体等が行う国際交流、国際協力、多文化共生の事業に対して、共催団体として支援を行った。

① 岩手町国際交流協会との共催事業

「外国絵本の読み聞かせ」（3回）

開催日 平成 27 年 10 月 29 日、平成 28 年 1 月 19 日、3 月 23 日

開催場所 岩手町立図書館（ゆはず館）の児童会館

対象 学童保育の小学生（各回 40 名）

② ワン・ワールド・フェスタ in 九戸

（詳細は「1 (2)ウ 「ワンワールドフェスタの開催」に記載」

2 多文化共生の地域づくり

(1) 情報提供

ア 多言語ホームページによる情報提供

ホームページやブログ、フェイスブック、ツイッターを通じて日本語及び英語、中国語、韓国語で各種情報提供を行った。

- ・ホームページの来訪者数* **39,279** 件（前年度 38,692 件）*トップページアクセス数

イ 多言語の国際交流情報紙の発行

日本語及び英語、中国語版の国際交流情報紙を年 4 回で発行した。

- ・日本語版（隔月 4 回） 合計 14,000 部（3,500 部／回）
 - ・英語・中国語版（隔月 4 回） 合計 10,000 部（2,500 部／回）
- （前年度 日本語版（隔月 6 回）合計 21,000 部、英語・中国語版（隔月 6 回）合計 15,000 部）

(2) 日本語学習支援

ア 日本語サポーターの登録・育成と活用

日本語サポーターの登録と活用により、在住外国人のニーズに対応した日本語学習を支援した。

日本語サポーターの登録・活用

- ・登録者 **226** 人（前年度 232 人）
- ・活用 **40** 件（前年度 32 件）

(3) 外国人県民の生活支援

ア 外国人相談の実施

国際交流センターの機能の一つである「外国人相談」について、職員や中国人、韓国人及びフィリピン人対応の各外国人相談専門員、国際交流補助員等で日常的な相談に対応した。

① 相談窓口の設置

国際交流センターに相談窓口を設置し、生活上の問題をはじめとして幅広い相談に対応した

- ・相談件数 510件（前年度 615件）（②、③の相談件数を含む。）

（相談内容の内訳）

	コミュニケーション	住居	教育	医療・保健・福祉	行政手続	その他
26年度	75	25	54	102	211	148
27年度	41	11	53	44	153	208

*その他について

細かな生活情報に関する問い合わせ(wifiや携帯電話の契約、自動車運転免許の取得、マイナンバー制度等)、職探しや労働環境の相談等が多い。さらに、家庭や夫婦間のトラブル(14件)、日常の不満や日々の話し相手(27件)といったものも寄せられている。様々な要素が複雑に絡み合い、相談時点では相談者自身も問題の本質を掴みかねていることについて、時間をかけて解決の糸口を見出すケースも増えている。

② 相談専門員の配置

中国語、韓国語及び英語で対応する相談専門員等を配置し、県内在住外国人からの相談に対応した。

- ・外国人相談専門員(中国語、1名) 火曜日～金曜日 12:30～18:30
- ・外国人相談専門員(韓国語、1名) 水曜日 15:00～17:00
- ・外国人相談専門員(英語、1名) 木曜日 15:00～17:00
- ・国際交流補助員(中国語、1名) 隔週月曜日～金曜日 17:15～20:15
- ・国際交流補助員(韓国語、1名) 土曜日・日曜日 16:15～20:15
- ・国際交流補助員(英語、中国語1名) 水曜日他 17:15～20:15
- ・国際交流補助員(スペイン語、1名) 土曜日・日曜日 9:00～16:00

③ 外国人定期相談日

岩手県行政書士会と連携し、行政手続き等に関する専門相談に応じる相談日を定期的(毎月第3水曜日)に開設した。

- ・開設回数 12回 相談件数 17件 (前年度 12回 12件)

④ 地域巡回相談

外国人相談専門員等が地域の日本語教室等を巡回し、地域在住の外国人への相談対応や情報提供を行った。

- ・日本語教室等巡回数 6教室等(前年度 11教室等)
- ・相談対応件数 26件(前年度 38件)

⑤ 震災復興関連の相談対応

震災に関する相談やそれに付随する相談に対応するため、被災地に被災地外国人相談員を配置した。

配置地域： 山田町、大槌町、陸前高田市・大船渡市

イ 多言語サポーターの登録・育成と活用

多言語サポーターの登録と活用により、在住外国人等の依頼に応じた通訳や翻訳などの支援を行った。

・登録者 **245** 人 活用 **10** 件 (前年度 **222** 人、**9** 件)

対応言語数 **22** か国

ウ 私費外国人留学生支援

① 奨学金支給（県補助）

私費外国人留学生に月額4万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職に関するフォーラム等への積極的な参加を得た。

・奨学金受給者 **10** 人 国際交流等活動実績 延べ **160** 件 (前年度 **10** 人 延べ **185** 件)

[内訳] 岩手大学修士学生 **6** 人、 岩手大学学部学生 **4** 人

② 県内就職支援

岩手県が実施（協力・岩手県外国人留学生就職支援協議会）した就職支援セミナー等、就職関連の情報提供を行った。

3 次代を担う人づくり

(1) 講座・研修

ア いわてグローバル・カレッジの開催

グローバルな視点から岩手の国際化や多文化共生について理解を深めるための講演会を開催した。

講演：多文化社会のまちづくり「新しいコミュニティを考える」

講師：スコット・アルガード氏（カナダ人 シカゴ大学大学院博士課程）

日時：平成27年10月13日（火）18:30～20:00

場所：アイーナ5階 501会議室

参加者数：40人

イ 海外体験・留学セミナー「いわて青年国際塾」

留学やワーキングホリデーなどに必要な情報提供などを目的とした研修会を開催した。

日時：平成28年3月12日（土）13:30-15:30

講師：U.S.カレッジコネクション代表、留学カウンセラー 今入 亜希子氏

ゲストスピーカー：熊谷和氏、村松咲紀氏、松本明子氏、藤館雄太氏、石黒 優介氏

参加者：21人

ウ 「世界とのかけはしクラブ」設置運営事業

市町村の海外派遣事業参加者や国際交流に関心のある中高生、大学生など若者の発想やネットワークを地域の活性化に生かす取組として、県内4地域で海外体験の合同報告会や海外展開に向けた地域の魅力等について、留学生等とのディスカッションを行うワークショップを開催する等、人材の育成を図った。

① 盛岡開催

開催日：平成 27 年 12 月 6 日（日）

場所： アイーナ 4 階アイーナスタジオ

参加者数：38 人（岩手県立大学、一関工業高等専門学校、岩泉高校、西和賀高校、矢巾北中学校、岩手県高校生海外派遣事業、岩手県高校生海外派遣事業）

② 大槌開催

開催日：平成 27 年 12 月 20 日（日）

場所： 大槌町立中央公民館

参加者数：6 人

③ 一関開催

開催日：平成 28 年 2 月 27 日（土）

場所： 一関市民センター

参加者数：8 人（一関工業高等専門学校、水沢高校）

④ 九戸開催

開催日：平成 28 年 3 月 5 日（土）

場所： 九戸村公民館

参加者数：38 人（伊保内高校、久慈高校、福岡高校、軽米高校、一戸高校、軽米中学校、一戸中学校、小鳥谷中学校、奥中山中学校、九戸中学校）

エ インターンシップ受入れ

県内学校等の依頼に応じ、小学生から大学生までの学生のインターンシッププログラムの受入れを行った。

受入実績：8 校、40 人（前年度 6 校、13 人）

受入の学校等	受入期間	内容	受入人数
第一学院高等学校 盛岡キャンパス	平成 27 年 6 月 23 日(火)	職場見学	10 人
盛岡市立厨川小学校	平成 27 年 6 月 29 日(月)	施設見学	20 人
岩手県立大学	平成 27 年 8 月 25 日(火)～27 日(木)	大学連携インター ンシップ	2 人
岩手大学	①平成 27 年 8 月 23 日(日)、 ②平成 27 年 8 月 24 日(月)	ジョブシャドウイ ング（職場体験）	2 人
岩手県環境生活部	平成 27 年 9 月 1 日(火)	施設見学	2 人
秋田県立大学	平成 27 年 9 月 7 日(月)～8 日 (火)	インターンシップ	1 人
第一学院高等学校 盛岡キャンパス	平成 28 年 2 月 24 日(水)～25 日(木)	職場体験	2 人

岩手県立大学・盛岡短期大学部	平成 28 年 3 月 25 日(金)	ジョブシャドウイング	1 人
----------------	---------------------	------------	-----

(2) 海外研修員等の受入れ

ア 海外研修員等のサポート

県からの委託により、県が受け入れた海外自治体職員研修員及び海外技術研修員の研修や生活上のサポートを行った。

区 分	氏名	期 間	出身国	研修(内容)・留学先
海外自治体職員研修員	于 璐	平成 26 年 5 月～ 平成 27 年 4 月	中国	岩手県
海外自治体職員研修員	閻 菲遠	平成 27 年 5 月～ 平成 28 年 4 月	中国	岩手県
海外技術研修員	工藤 裕章	平成 27 年 6 月～ 平成 27 年 11 月	パラグアイ	(株)みちのくクボタ

4 震災被災地復興の支援

(1) 外国人相談

震災に関する相談窓口として、被災地に外国人相談員を配置した。

- ・被災地外国人相談員

山田町担当：佐藤秀樹氏（社会福祉法人三心会事務長）

大槌町担当：元持幸子氏（NPO つどい～大槌の人とまちを育む～事務局長）

大船渡市・陸前高田市担当：大和田加代子氏（陸前高田市国際交流協会日本語教室講師）

- ・委嘱期間 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

(2) 震災地域団体支援

震災被災地の国際交流協会の事業実施について支援を行った。

- ・陸前高田市国際交流協会

ワン・ワールド・フェスタ in けせん～クリスマス交流会～の共催

- ・大船渡市国際交流協会

エデュケーション USA サマーキャンプ in 大船渡 2015 への助成

- ・大槌町国際交流協会

大槌町クリスマスパーティの共催

＜ 管理部門 ＞

I 評議員会・理事会等の開催状況

評議員会、理事会、専門委員会等の開催状況は、次のとおりである。

開催日	会議名	会議の概要
平成 27 年 5 月 20 日(水)	評議員選定委員会	・評議員の選任
6 月 5 日 (金)	第 16 回理事会	決議事項 ①平成 26 年度事業報告及び附属明細書の承認 ②平成 26 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 ③定時評議員会の招集 ④国際交流・協力・多文化共生活動支援助成規程の一部改正 他
6 月 24 日 (水)	第 6 回評議員会	決議事項 ①平成 26 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 ②理事及び監事の選任
6 月 24 日 (水)	評議員選定委員会	・評議員の選任
6 月 26 日 (金)	第 17 回理事会	決議事項 ①理事長の選任 ②常務理事の選任及び報酬月額の設定 ③評議員選定委員会委員の選任
11 月 13 日 (金)	平成 27 年度 第 1 回企画推進専門委員会	平成 26 年度及び平成 27 年度(9 月末現在)の事業実施状況と評価等
11 月 27 日 (金)	第 18 回理事会	決議事項 ①コンプライアンス規程の一部改正
11 月 27 日 (金)	評議員及び役員並びに企画推進専門委員会 合同の意見交換会	意見交換
平成 28 年 2 月 24 日(水)	平成 27 年度 第 2 回企画推進専門委員会	①平成 27 年度事業評価(1 月末現在) ②平成 28 年度事業計画案
平成 28 年 3 月 23 日(水)	第 19 回理事会	決議事項 ①平成 28 年度事業計画書及び収支計算書の作成 ②就業規則の一部改正 ③非常勤職員及び臨時職員就業規則の一部改正 ④常勤嘱託職員の取扱に関する規程の制定 ⑤育児・介護休暇等に関する規程の一部改正 ⑥国際交流・協力・多文化共生活動支援助成規程の

		一部改正 ⑦いわて留学生友好交流奨学金支給規程の一部改正 ⑧個人情報保護規程の一部改正 ⑨県出資等法人に係る中期経営計画書（平成 27 年度～平成 30 年度）の作成
--	--	--

II 業務執行体制等

1 職員の状況

非常勤専門職員（スタッフ）の 1 名が 6 月末に退職し、その後任として 7 月から非常勤専門職員（スタッフ）1 名を採用した。

平成 27 年度末の事務局職員数は、常勤職員 3 名、非常勤専門職員 7 名、非常勤相談員 3 名、非常勤補助員 2 名である（事務局長事務取扱役員を除く）。

2 コンプライアンス体制及び職員研修

当協会の目的や公益財団法人の職員としての心構えや期待されていることについて、職員の意識を涵養するため理事長講話・訓示を行った。

また、平成 28 年 3 月、コンプライアンス委員会委員として新たに外部委員 1 名を委嘱し、同委員を加えた委員会において平成 27 年度におけるコンプライアンスの状況の確認を行い、結果を理事会に報告した。

3 JICA 国際協力推進員の配置

当協会と JICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA 東北支部との協定により、協会内に JICA デスクを設置し、国際協力推進員を配置しているが、平成 27 年度も継続配置した。

III 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

1 寄附金の受入れ

次の 4 件 280,000 円の寄附金を受け入れた。

ア 基本財産

1 件 100,000 円

イ 一般寄附金

2 件 130,000 円

ウ 協賛寄附金

1 件 50,000 円

2 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、平成 27 年 3 月から 5 月に募集キャンペーンを行い、新規入会者に入会記念品を差し上げたほか、年間を通じて、イベント開催時に参加者に賛助会員入会を呼びかけを行ったが、平成 27 年度の新規入会は 20 件に止まった。

平成27年度中の入退会の状況は、次のとおりである。

	平成27年3月末	入 会	退 会		平成28年3月末	増 減
			退会届	職権退会		
個人会員	419	15	6	118	310	-109
学生会員	31	5	1	10	25	-6
団体会員	62	0	0	8	54	-8
合 計	512	20	7	136	389	-123

平成27年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成28年5月

公益財団法人岩手県国際交流協会